Panasonic ECO RELAY JAPAN for Sustainable Earth

エコリレーJ 通信

第161号（通算496号）

2022－1－7 ： パナソニック エコリレー ジャパン（PERJ）事務局

パナソニックエコリレージャパン
代表理事　福澤　邦治
パナソニックグループ労連　中央執行委員長

副代表理事　三島　茂樹
パナソニック（株）執行役員

副代表理事　上田　勉
パナソニック松愛会　会長

日頃より、エコリレージャパンの活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
新年を迎え、一言、ご挨拶させていただきます。

昨年は、コロナ禍に対して様々な対策が行われてきましたが、世界的な感染拡大が収まらず、一昨年に引き続き、活動や行動が制限される年となりました。７月には「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」が、安全対策措置を講じたうえで無事に開催されました。オリンピック史上初めて１年延期となり、開催については様々な意見がありましたが、大会組織委員会をはじめとした関係者や選手の尽力により、素晴らしい大会になったのではないかと思います。日本代表選手団をはじめ、各国代表選手の活躍は、コロナ禍にある私達に勇気と希望を与えてくれたのではないでしょうか。
また、近年の自然災害の頻発化・大規模化等の影響もあり、「地球環境保護」に対する意識・関心が社会的に高まった年にもなりました。英国で開催された COP26（国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議）では、約 200 か国が参加して今後の気候変動対策が話し合われました。日本にも、大きな期待とともに責任があり、政府も脱炭素社会に向け 2030 年に「カーボンニュートラル」実現に向けて具体的な取り組みが求められています。
パナソニックグループも昨年の発表した経営方針で「環境問題解決の領域で圧倒的な存在感を誇る会社」を掲げ、2030 年にすべての事業会社でＣｏ２排出量ゼロ化に向けて取り組みを始めています。

エコリレージャパン活動は、緊急事態宣言時には全活動を中止しましたが、現在は安全対策を施し、参加者を限定するなど、工夫しながら活動を継続しております。前身組織である 松下グリーンボランティア倶楽部（MGV）は、1993 年 11 月に、地球環境の課題の解決に向け、「論じるより行動、小さくても行動」と当時の松下電器グループの組合員、従業員、退職者に呼掛け発足しました。そして、「できることから始めよう」を合言葉に、様々な活動を継続してきました。今一度、この原点に立ち返り、地球環境問題に対して行動していきたいと考えています。
皆さまにおかれましては、引き続き、それぞれの地域、お立場で活動を推進いただくことをお願い申し上げます。

＝＝

エコリレー事務局より　お知らせ

イベント案内と募集は、HPを参照下さい。詳しくは、事務局まで連絡お願い致します。
http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/event.html

パナソニック エコリレー ジャパン　〒571-0050 大阪府門真市大字門真1006番地　ユニオンプラザ内
事務局 ： 山口　進　　E-mail： yamaguchi.ssm@jp.panasonic.com
HP ：http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/perj.html

＝＝